

2020年度（令和2年度）
事業報告書

社会福祉法人 豊友会

2020年度(令和2年度)事業報告

概要

2020年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染予防、対応に多くの時間を割き、緊急事態宣言やまん延防止等特別措置の発出などへの対応と社会を取り巻く環境を見極めつつ、園児や職員の安全安心を第一に取り組みを行った。

日常保育・教育、行事等のあり方についても検討を加え、工夫を凝らしながら、PDCAサイクルの徹底を行い、改善に努めた。

研修については、対面・集合型の研修は、中止若しくは延期されるものが多くなる中で、オンライン研修を積極的に活用しての新たな形態が主流となった。新年度も対外的な研修のみならず、法人及び施設においてもオンライン研修を取り入れるような取り組みを行うこととしたい。

職員待遇に関しては、地域や設置施設種毎で差異が顕在化しつつあることがあるが、できる限りの対応をしていく体制を整備していくこととしたい。

採用状況については、神戸エリアは変わらず堅調であり、首都圏エリアにおいても、企画担当職員を採用、活発化により、増加傾向となっている。豊岡エリアも前年対比は増加傾向にあるが、保育実習、ボランティアの受け入れはもとより、WEBの一層の活用やイベント開催などが必要である。

1 業務報告

コロナ禍における感染防止対策を施し、玄関での体温計設置や消毒液の拡充、空気清浄器を設置など地域によって、差異はあるものの完全安心を第一に取り組みを行いつつ、各施設において、保育教育の充実を図り、大きな問題もなく1年を過ごすことが出来た。

各エリアでの特記事項について、下記する。

豊岡エリアでは、チャイルドハウス保育園のこども園への移行整備、バンビーノハウス保育園の新設準備を行った。

神戸エリアでは、村雨こども園なぎさ分園の開園により、定員増を図ると共に、神戸市須磨区役所内に「おやこふらっとひろば須磨」の運営を受託し、コロナ禍で開設が6月にずれ込んだものの、順調に経営している。

首都圏エリアでは、つくしんぼ保育所の契約更新入札を落札し、以後5年間の運営を受託した。また、積年の課題であった東京都への進出についても、江東区、豊島区への新園設置に向けた取り組みが、具体化しつつあり、対応ていきたい。

本部と施設の機能分担を整理しつつ、職員へのネットワークシステムの構築を検討して、より一層円滑な経営を目指したシステム作り、体制整備を行うこととしたい。

1－1 社会福祉事業

保育園・こども園事業については、概ね順調に推移しているものの、園によつては、収支バランスが悪化しているところもあり、今後改善を行なつていきたい。

豊岡エリアでは、チャイルドハウス保育園では、定員 130 名に対して、平均 188 名の在籍があり、144%の定員超過となつており、2021 年 4 月のこども園移行やバンビーノハウス保育園の開園に伴い、若干改善するものの抜本的な対策が必要である。病児病後児保育事業については、利用数は前年対比 62%減の 180 名の利用にとどまり、一時保育事業も同様に減少している。また、3 歳児の体験保育事業については、7 月からの開始、子育て支援事業についても、中止を余儀なくされることもあったが、「わくわくの森」などの利用者は一定確保された。

神戸エリアでは、村雨こども園なぎさ分園の開園により、定員数が増えたこともあり、園児数は平均 186 名であった。松風児童館においては、分館も含めて、学童クラブ利用者数が最大 153 名となり、環境整備について、今後共取り組みをしていく必要がある。年間利用者数については、19,511 名で前年から約 6,000 名減少しているものの、おやこふらっとひろば須磨の利用者は、9,317 名を数え、全体としては、計で 3,200 名程度の増加となっている。

首都圏エリアでは、諏訪ひかり保育園の園児数が平均 89 名で、6 名減少となり、病児病後児保育保育室についても、前年対比 93%減の 10 名の利用にとどまり、経営的な改善が求められている。

1－2 公益事業

放課後児童クラブキッズガーデンにおいては、児童数も安定し、平均 57 名となっているが、補助金がないことから、行政への働きかけなど、今後一層の取り組みが必要となってきている。

さいたま保育園、つくしんぼ保育所においては、順調な運営を行なつてあるものの園児数の推移を注視しながら、取り組みを行なっていく必要がある。

1－3 収益事業

2019 年 7 月より、園庭用に買収した敷地内にある 3 階建てマンション及び駐車場の賃貸業を開始し、現在満室状況であり、順調に推移している。

1－4 第三者評価

2018 年度に諏訪ひかり保育園で受審して以来、各施設で実施できていない状況を鑑み、早急に対応して、順次受審して、改善に努めていきたい。

1－5 研修活動

対面・集合型の研修に変わり、オンライン研修を活用して取り組みを行なつたがまだ、十分な対応とは言えない。

内容的には、キャリアパスに関する事柄や保育教育の専門性を高める研修を行う一方で、産業医によるメンタルヘルスやコンプライアンスに関する情報提

供を行うなどの取り組みを行った。

個別計画の遂行については、研修の中止や延期などで、十分な対応ができないかった。

また、メークアップやインスタの研修を取り入れるなど、教養や趣味、健康や美容などをも取り込んだ取り組みにより、分厚い人間力育成についての研修にも積極的に取り組むこととした。

法人内でのオンライン研修、情報共有を図る意味からもネットワークシステムの構築を図っていくこととした。

1－6 法人運営

法人経営については、理事会を8回、評議員会を4回開催し、毎月法人事務局会議を開催し、情報共有、意思決定の迅速化を図る一方で、施設長会議等の会議開催が出来ず、今後改善に努めていきたい。

法人役職員数が、265人となり、ガバナンスやコンプライアンスの強化はもとより、コミュニケーションの一層の充実が重要となってきた。

2 経営報告と今後の課題

法人全体としての事業活動収入は、13億6,542万円（前年度13億5,489万円）、事業活動支出は12億4,480万円（前年度11億9,551万円）、事業活動収支は1億2,062万円（前年度1億5,938万円）、事業活動外収支を加味した経常収支は、1億1,580万円（前年度1億5,452万円）の経常収支プラスとなり、前年度対比収入は減少した。全体の収支差額は1億円を超えている現状にある。

決算分析としては、職員数が増加し、人件費が増加すると共に、コロナ対策などの事務管理経費、保育環境整備支出が増加している。今後も新規事業への対応と共に経費節減についても改善を施していくこととした。

3 社会福祉事業

3-1 チャイルドハウス保育園

(1) 保育・運営

2019年度に引き続き、定員数を大きく上回る園児数の受け入れ状態でのスタートとなった。コロナ禍の中、2021年度認定こども園への移行に向け、「こども達の主体性」を大切にし、教育・保育の充実を図った。幼児クラスでは、午前中はクラス単位での活動、午後はクラスの枠を超えての活動（チャイルドtime）を開催し、「遊びの選択肢」を多くしながら、教育・保育を進めている。「運動会」「発表会」などの行事についても大きく見直しを行い、日常教育・保育の延長線上にある内容へと転換していった。感染症拡大予防の為に、年間を通して、保護者に園に出向いてもらう事が難しく、行事や日常の園生活を「動画配信」にて発信した。又、園舎東側の駐車場の1/2の面積を「第2園庭」として改修した。安全面に十分配慮しながら、2か所の園庭を園全体でうまく活用し、こども達の遊び場を確保している。

地域との連携・交流に関しては、ホームページのブログに加えて、インスタグラムでの情報発信を行い始めた。地域発信に加えて、入職希望者に向けての内容工夫に努めた。

2020年度 チャイルドハウス保育園園児人数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4月	5	8	12	57	62	46	190
5月	5	8	12	57	62	46	190
6月	5	8	12	57	62	46	190
7月	5	8	12	57	62	45	189
8月	5	8	12	56	61	45	187
9月	5	8	12	56	61	45	187
10月	5	8	12	56	61	45	187
11月	5	8	12	57	61	45	188
12月	6	8	13	56	61	45	189
1月	6	7	13	55	61	45	187
2月	6	7	13	53	61	45	185
3月	6	7	13	54	61	45	186
平均(人)	5	8	12	56	61	45	188

(2) 子育て支援事業

事業の活動形態の見直しを行う。「わくわくの森」をより多くの在宅親子に利用して頂くため、年齢別の登録制を廃止したことにより、利用制限をすることもなくなり、月～金までいつでも来室して頂けることにつながった。また、可能な限り保育士を部屋に配置したことにより、気軽に相談できる環境も整い、

来室数も大幅にアップした。子育て家庭とのやりとりが増えたことにより、どんなことに悩みを抱えておられるかなどを知ることができ、地域コミュニティの開催テーマにも反映することができた。

「わくわくの森」「地域コミュニティ」とともに、万全の感染症対策を講じた上で実施することに注力をした。

3歳児を対象とした「体験保育事業」は、コロナの影響を受けて7月からの開始となった。個々の発達段階に応じながら、在園児同様の集団活動や遊びが楽しめる保育を行った。保護者とも密に連携を図りながら、育児相談に対応していった。また、毎土曜日の園庭開放を随時行った。

2020年度 わくわくの森実績報告

来室数(組)	
4月	緊急事態宣言が発令のため閉室
5月	緊急事態宣言が発令のため閉室
6月	16
7月	10
8月	57
9月	28
10月	36
11月	25
12月	17
1月	2
2月	6
3月	15
平均	21.2

2020年度 地域コミュニティ実績報告

日 時	内 容	場 所	参加状況
6/23(火) 9:45～11:55	園外保育	但馬空港	10組
7/30(木) 10:15～11:10	えのぐあそび	わくわくの森	10組
9/16(水) 10:00～11:40	親子クッキング	わくわくの森	15組
10/28(水) 10:15～11:30	親子英会話	わくわくの森	10組
11/20(金) 11:00～12:00	親子ふれあいあそび	わくわくの森	9組

12/15(火) 10:00~11:30	制作あそび	わくわくの森	5組
-------------------------	-------	--------	----

(3) 病児病後児センター「チャイルドケアセンター」

今年度の利用は180名であった。

新型コロナウイルス感染症での休校や自粛、それ以外の感染症の流行がなかつた為、例年に比べて1/3程度の利用であった。

引き続き、地域の医療機関と連携をとりながら、保育環境の整備、保育看護の充実、新型コロナウイルス感染症に対する情報収集、衛生管理の徹底を図っていく。

2020年度 チャイルドケアセンター利用人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	20	10	17	20	20	11
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	24	15	9	7	10	17
合計	180名					

(4) 一時預かり事業

年間利用者が約624名であった。0~2歳児に関しては、リピーター利用者の私的 lýによる利用が多く、日によっては、人数制限を図る事もあったが、月平均は5名ほどであった。今後も安全、安心して預けられるよう、地域貢献の一つとして行っていきたい。

2020年度 チャイルドハウス保育園一時保育実績

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4月		2		2			4
5月							0
6月		3		5	2		10
7月		1		76			77
8月		1		62			63
9月		2		76			78
10月		2	8	62			72
11月	3	1	5	61			70
12月	4	4	3	59			70
1月	1	2	1	57			61
2月	2	1	1	61			65

3月	2	1	5	46			54
合計（人）	12	20	23	567	2	0	624

（5）職員研修

外部研修では、コロナ禍でのw e b研修が増え、今まで京阪神圏内で行われる研修に参加しづらかった職員の積極的な参加が増えた。キャリアアップ研修に関しても引き続き、継続的に参加している。園内研修には、各関係団体のw e b研修を活用し、講義型から実践型まで取り入れ、教育・保育へのスキルの向上に繋げた。

3－2 テラスハウス保育園

（1）保育・運営

新年度がスタートしたものの、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が発令され、それに基づき、4月13日～5月31日迄、各家庭に登園自粛をお願いすることとなる。しかし、半分～3分の2の園児が日々登園してきた。衛生面等、細心の注意を払いながらの保育となった。職員も、コロナ休業や在宅勤務を行った。6月からは、通常保育となるが、制限のある中での保育となり、夏祭りや運動会等の行事の中止、保育参加をライブ配信に変更したりして、その都度、社会状況を見ながら検討し対応していった。毎日の体調管理・観察、園内・玩具等の消毒も丁寧に行っていった。

また、配慮を要する児を専門機関につなぐことができた。家庭支援を要する保護者には、密に専門機関との連携を取り、個別支援を行った。

地域の保護者・子育て支援の取り組みとしての一時保育事業では、200名を超える利用があった。地域密着を目指す園として、昨年から引き続き、地域への情報配信として、保育の様子をホームページ・ブログ等で継続的に行った。

2020年度 テラスハウス保育園園児人数

	0歳児	1歳児	2歳児	合計
4月	3	17	24	44
5月	6	18	24	48
6月	6	19	24	49
7月	7	18	24	49
8月	7	18	24	49
9月	8	19	23	50
10月	11	19	24	54
11月	12	18	24	54
12月	12	18	24	54

1月	12	19	24	55
2月	12	19	24	55
3月	11	19	23	53
平均(人)	9	18	24	51

2020年度 テラスハウス保育園一時保育実績

	0歳児	1歳児	2歳児	合計
4月	0	2	3	5
5月	0	0	0	0
6月	0	12	9	21
7月	6	6	5	17
8月	3	11	5	19
9月	5	16	4	25
10月	4	16	1	21
11月	5	16	2	23
12月	4	18	2	24
1月	3	7	3	13
2月	0	5	13	18
3月	8	15	10	33
合計 (人)	38	124	57	219

(2) 職員研修

今年度も引き続き、会議前の短時間を利用しての実技研修、希望者は、法人独自のピアノ研修も行った。コロナ禍の為、外部研修は取りやめることとなり、園内研修の充実、オンライン研修の活用を行った。園内研修では、各クラス単位で「まなびの公開保育」を取り入れ、教育・保育に対する意見交換を行うことにより保育の質の向上へとつなげていった。

3－3 スマイリーハウス保育園

(1) 保育・運営

「一人ひとりを大切に、一人ひとりに寄り添う保育の実践」を目標に、新年度がスタートしたが、新型コロナウィルス感染症が蔓延し、自治体の登園自粛要請により登園人数が半数を下回ったため、テラスハウス保育園での合同保育を余儀なくされた。職員についても、コロナ休暇取得や在宅勤務となり、対面で関わる機会が減り、全てが5月下旬からのリスタートとなった。

園内の感染症対策として、設備や備品・玩具類のこまめな消毒をはじめ、園

児・職員の体調管理に努め、環境整備など多くの工夫を行った。特に保育環境については、保育内容そのものをじっくりと考えたり、見直す機会へとつながった。これまでの固定概念や経験などから受け入れ難かったことも、実践していくことで新しい側面を見るきっかけとなつた。行事をはじめとした保護者参画型の情報共有も難しくなつたことで、課題点は残したもの、オンラインという新しい情報発信方法を見出すことができ、次年度へとつなげることができた。

食育活動では、クッキングなど制限されることが多い中、野菜栽培に力を入れた。乳児にも変化がわかりやすい野菜を選び、また、園庭という日常的に遊んでいる身近な場所に菜園を設けたことにより、水やりなどのお世話時以外にもいつでもその生長を目にすることができる環境となり、より一層、興味関心を高めることができた。

家庭支援を要する保護者も複数あったが、関係機関との連携を密に図り、こまめに情報共有を行っていくことで、園児・保護者が心身共に少しでも安定して過ごしていけるよう個別支援を行つていった。

また今年度は、コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら、キッズガーデン児童との交流や大岡学園選択授業受け入れ等を積極的に行っていった。キッズガーデン児童はもとより、園児も児童と一緒に遊ぶことをとても楽しみにしている姿が多くみられ、相互に良い影響を与えながら過ごせた。児童の行動の把握については、保育園への出入りが把握できるよう入退室ボードを設置し、児童の安全管理についても十分留意した。

2020年度 スマイリーハウス保育園園児人数

	0歳児	1歳児	2歳児	合計
4月	0	8	8	16
5月	1	8	8	17
6月	1	8	8	17
7月	1	8	8	17
8月	2	8	8	18
9月	3	8	8	19
10月	4	8	8	20
11月	4	8	8	20
12月	4	8	8	20
1月	4	8	8	20
2月	4	8	8	20
3月	4	8	8	20
平均(人)	2.6	8	8	18.6

(2) 一時預かり事業

年間利用延べ人数は66名であった。コロナウイルス感染症の流行により、受け入れを控えた期間もあり、年度前半を中心に、利用者数は増えなかつた。前年度同様、利用者の多くはリピーターであり、周知が図られている状態であるとは言えないでの、引き続き周知していく必要があると感じている。

2020年度 スマイリーハウス保育園一時保育実績

	0歳児	1歳児	2歳児	合計
4月	0	2	0	2
5月	0	0	0	0
6月	0	1	0	1
7月	0	2	0	2
8月	3	0	2	5
9月	2	1	2	5
10月	1	2	6	9
11月	2	1	18	21
12月	4	0	13	17
1月	0	0	0	0
2月	0	1	0	1
3月	3	0	0	3
合計	15	10	41	66

(3) 職員研修

「環境で行う保育」を年間テーマに掲げ、研修を行つた。外部研修については、コロナ禍によりオンライン研修が主体となつたが、例年、遠方での研修には参加しづらい職員も積極的に参加することができ、保育の共通理解へつなげることができた。また、園内研修についても、保育環境の改善を目標に、職員一人ひとりが活発な意見交換を行い、次への取り組みを明確にすることができた。

その他、新採用職員を対象として、ピアノ研修など実技研修を行い、保育の質の向上を目指した。

3-4 スプリングハウス保育園

(1) 保育・運営

開園2年目を迎えて、13名でスタート。4園の中で一番小さい園でもあり、家庭的アットホームな保育園を目指し、一人ひとり丁寧に関わることを目標とし取り組んだ。コロナ禍の中で保護者の保育参加の機会がない1年であったが、新たにLIVE配信や動画配信で子どもたちの様子をみてもらうという新たな試み

もスタートしたり、大きな行事は行えなかつたが、園独自で子どもたちの成長に合ったミニ行事や遊びを工夫計画し、楽しんだり経験する機会を作つた。園児は、3月には19名にまで増え、異年齢保育中心の保育であったが年齢ごとの遊びの機会も増やすことができた。

今年度は、午睡センターも導入され、連絡帳に続きICT化が進み、保育業務の負担軽減やノンコンタクトタイムをしっかりと確保して、働く環境の改善に取り組んだ。

地域との連携・交流に関しては、難しい1年であったが、大変な業務を行つておられるごみ収集の方や食品業者の方々に手作りのお花やカレンダーをプレゼントして交流を図つた。

2020年度 スプリングハウス保育園園児人数

	0歳児	1歳児	2歳児	合計
4月	1	5	7	13
5月	1	5	7	13
6月	1	5	7	13
7月	3	5	9	17
8月	3	5	9	17
9月	3	5	8	16
10月	3	5	7	15
11月	3	5	7	15
12月	3	6	7	16
1月	3	6	7	16
2月	3	6	7	16
3月	4	8	7	19
平均(人)	2.6	5.5	7.4	15.3

(2) 一時預かり事業

今年度から一時預かり事業をスタートする。年間延べ人数は12名。事業の周知が広くなされていないためか、利用者が少なかった。もう少し、周知への取り組みを図るべきであった。

2020年度 スプリングハウス保育園一時保育実績

	0歳児	1歳児	2歳児	合計
4月	0	0	0	0
5月	0	0	0	0
6月	0	0	0	0
7月	0	0	0	0

8月	0	0	0	0
9月	0	2	0	2
10月	0	6	0	6
11月	2	0	0	2
12月	0	0	0	0
1月	0	0	0	0
2月	0	0	0	0
3月	2	0	0	2
合計（人）	4	8	0	12

（3）職員研修

昨年に引き続き、ピアノ研修の実技を行い保育の質の向上に努めた。例年の研修が中止される中、但馬地区主催のキャリアアップ研修やオンライン研修に参加し、保育のスキルアップに繋げたり、豊岡市のスタンダードカリキュラムの活用の説明会に参加し、内容の共通理解と質の高い教育保育への実用化を学んだ。また、毎日15分の保育振り返りタイムを設け職員間同士の意見交換を行い、明日の保育に繋げることに取組んだ。

3-5 （幼保連携型認定こども園）

村雨こども園・村雨こども園愛分園・村雨こども園なぎさ分園

（1）施設運営

令和2年4月1日に、神戸エリア2園目となる分園「幼保連携型認定こども園 村雨こども園なぎさ分園」が、本園の西側に開園しました。海辺の近郊に建つこども園のイメージがコンセプトです。外観にブルーのコントラストのタイルをはり、そのタイルが太陽の光を浴び、キラキラ輝き波のイメージを引き立てています。

園児数は、村雨こども園行幸町内で概ね40名増え、本園の屋上を園庭に整備し、戸外での遊びのスペースも確保することができました。

村雨こども園、松風児童館玄関の雨漏りは、漏水調査業務専門業者に調査を依頼しました。原因は、構造クラックを通り天井裏に貫通し、水溜りができ雨漏りが発生しているとの報告でした。原因の箇所を詰め、その後の状態の経過を見ることになりました。

また、新型コロナウイルス感染症の発生により、4月14日から6月14日までは、家庭保育や特別保育の要請を神戸市から受け、医療従事者や社会的役割を担う職種のご家庭の園児を中心に保育を行いました。特に、医療従事者の保護者の疲弊や、要保護児童世帯、精神疾患の保護者の見守り支援もあわせて行い、送迎時や電話連絡等で、現状の対応に努めました。

園児への感染防止対策としては、全保育室に、次亜塩素酸排出と加湿の効果がある、「ジアイーノ」を設置し衛生環境を整え、絵本、遊具などを増やし、ソ

ーシャルディスタンスを保ち遊べるようにコーナー数も増やし、以前と同じように自主的に遊びが展開できるように工夫しました。

給食は、机を増やし飛沫が飛ばないように対面で座らないようにし、座席の人数調整に常に注視し、全保育室の環境と備品を整えました。

また、職員、保護者間の情報共有ツールは「よい子ネット」の活用を十分に行い、コロナ休暇取得時や家庭保育中の保護者への発信にICT化を取り入れました。

職員においては、毎日、保育入室前に健康観察チェックを行い、感染予防の自己管理に努め、コロナ禍で、業務内容は増え、今までとは違うことに日々対面していますが、弱音を上げることなく乗り切ってくれています。

以前と変わらず積極的に園児への教育保育に尽力する姿が見られます。

また、職員同士の接触や電車通勤ができるだけ回避するために、初めての在宅勤務にも取り組みました。

神戸エリアは、今年度9月に初めてストレスチェックを受けました。新型コロナウイルス感染防止対策に努めながらの教育保育、職員同士の懇親の場の中止、私的なリフレッシュがままならない中で、保育教諭が担う社会的役割は、より一層重要なものとなりました。このストレスチェックは、精神的に大きな負担を感じる時期に、自分自身を見つめ直すよい機会となりました。

保育所実習・教育実習は、コロナ禍中でしたが、養成校4校からの依頼があり、感染状況が下降時に、保育所実習生・幼稚園教育実習生の5名の受け入れを行いました。今年度の保育所実習生の内1名の学生が、新卒職員採用者に結びつきました。

神戸エリアのキャリアパス人事評価シートの開始については、コロナ禍で、人事評価者の研修が追い付いてなく、今年度は、自己申告書提出後の職員面談を、人事評価者となる主幹保育教諭2名を含め、トライアルで行いました。

感染予防のためコミュニケーションが、とりづらい状況下だったので、具体的な業務の取り組みを、ゆっくりと話せる機会となりました。面談後は、多方面の認識が共有でき、コロナ禍の業務を安定して進めていくことができました。

キャリアパス制度の導入は、研修の進行を確認しながら、目標や働きがいをもって働く環境づくりの強化を行っていきたいと思います。

2020年度 村雨こども園（定員135名）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計（人）
4月	12	21	27	30(8)	30(5)	34(4)	154
5月	12	22	27	30(8)	30(5)	34(4)	155
6月	12	21	28	30(8)	30(5)	34(3)	155
7月	12	22	28	30(8)	30(5)	34(3)	156
8月	12	22	29	30(8)	30(5)	34(3)	157
9月	12	22	29	30(8)	30(4)	34(3)	157
10月	12	22	30	29(8)	30(4)	34(3)	157

11月	12	22	30	29(8)	30(3)	34(3)	157
12月	12	22	30	29(8)	30(3)	34(3)	157
1月	12	22	29	28(8)	30(3)	34(3)	155
2月	12	22	29	28(8)	30(3)	34(3)	155
3月	12	21	30	28(8)	30(3)	34(3)	155
平均	12	21.7	28.8	29.2	30	34	155.8

1号認定（内数）

2020年度 村雨こども園愛分園（定員12名）

	0歳児	1歳児	合計 (人)
4月	2	6	8
5月	2	6	8
6月	4	6	10
7月	5	6	11
8月	6	6	12
9月	6	6	12
10月	6	6	12
11月	6	6	12
12月	6	6	12
1月	6	6	12
2月	6	6	12
3月	6	6	12
平均	5	6	11

2020年度 村雨こども園なぎさ分園（定員30名）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計（人）
4月	1	3	3	6	3	1	17
5月	1	3	3	6	3	1	17
6月	2	3	3	6	3	2	19
7月	3	3	3	6	3	2	20
8月	3	3	3	6	4	2	21
9月	3	3	3	6	5	2	22
10月	3	3	3	6	5	2	22
11月	3	3	3	6	5	2	22
12月	3	3	3	6	5	2	22
1月	3	3	3	6	6	2	23
2月	3	3	3	6	6	2	23
3月	3	3	3	6	6	2	23

平均	2.5	3	3	6	4.5	1.8	20.9
----	-----	---	---	---	-----	-----	------

(2) 教育保育内容について

なぎさ分園を開園し、保育室数が増え、0歳児から5歳児全クラスが、2クラス編成となり、採光の良いゆったりとしたスペースの保育室環境の中で、教育保育方針である、「一人一人の子どもとの関わりを大切にした、丁寧な教育保育の充実」に、より一層、力を注ぐことができました。

屋上園庭の整備も行い、戸外での広い遊びのスペースが確保でき、発達年齢に応じた、戸外遊びを行うことにより、子ども達の体幹や体力増進に効果が現れています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、上半期の保育参観やオープン保育、卒園児を招待しての夏祭りは、中止としましたが、下半期は、新型コロナウイルス感染症の知識や衛生管理の維持を習得することにより、人数調整、換気や検温、ソーシャルディスタンスなどを十分に行い、クリスマス会、運動会、生活発表会、卒園式などは実施しました。

けれど、地域交流や小学校との連携は難しく、実施することはできませんでした。

(3) 子育て支援事業

毎週月曜日に実施している、村雨こども園の園庭開放「むらさめひろば」は、ソーシャルディスタンスを保ちながら園庭遊びを楽しみ、親子ともに、体を動かしリフレッシュの場となりました。

「親子体験保育」「プール開放」などは、毎年、予約者が多く蜜になるので、中止としました。

2020年度 むらさめひろば・なかよしひろば

4月	非常事態宣言発令のため中止	10月	115
5月	非常事態宣言発令のため中止	11月	111
6月	83	12月	114
7月	40	1月	82
8月	60	2月	147
9月	121	3月	132
合 計(人)			1,005

(4) 一時保育事業

新型コロナウイルス感染防止のため、非常事態宣言発令中は、受け入れ人数を最小限に抑え、自粛しながら年間通して実施しました。利用状況は、非定型保育（就労で保育が必要）利用者と、子育て不安や子育て疲れ、または精神疾患などを抱える利用者を中心に、受け入れを行いました。

2020年度 村雨こども園 一時保育利用状況

	非定型保育	緊急保育	リフレッシュ保育	合計(人)
4月	30	0	3	33
5月	28	0	3	31
6月	41	3	4	48
7月	45	1	10	56
8月	31	3	8	42
9月	55	11	13	79
10月	71	1	17	89
11月	71	8	18	97
12月	85	3	17	105
1月	80	12	18	110
2月	86	10	19	115
3月	108	6	34	148
合計	731	58	164	953

(5) 研修

・新しい生活様式に則った、「生活・遊び」の教育保育内容をどのように進めていくのか、感染防止対応と、子どものあるべき姿との兼ね合いにぶつかる度に、検討会議を少人数単位で行いました。

また、新型コロナウィルス感染防止の知識を深めるため、衛生環境・衛生管理の研修に、全員が取り組みました。

・キャリアアップ研修は、全面的にオンラインでの受講に切り替えることにより、なぎさ分園の事務室で、スムーズに受講ができました。

・園内研修においては、園児の給食や遊びの場面を、写真やビデオに撮影し、その画像から子どもの姿を読み取り、教育保育内容の進め方、支援配慮などを、グループごとにディスカッションしました。

職員同士のコミュニケーションと共通理解が深まる研修となりました。

・神戸市すこやか保育巡回指導研修の公開保育実施園に依頼され、すこやか対象児（5名）の公開保育を本園で実施しました。公開保育後は、みどりトータルヘルス研究所 藤田昌也先生の助言を受けながら、グループ討議に入り研修を深め、本園の職員も、すこやか児への行動の理解と援助、配慮の質が高まりました。

3-6 村雨ほほえみ保育園（小規模保育事業）

(1) 運営について

新型コロナウィルスの感染拡大に伴い、様々な制限がなされ、感染防止対策に取り組む一年となつた。

年度の初めから、緊急事態宣言や家庭保育の要請等の影響により登園児数が少なかつた為、村雨こども園での合同保育でスタートとなつた。職員に対して

は在宅勤務やコロナ休業などで出勤者を減らす対策をとった。環境整備としては補助金を利用し、空気清浄機、加湿器の設置を追加して、室内環境を感染防止に効果があるようにした。

村雨ほほえみ保育園での通常保育に戻ってからも、昨年度までとは違う対応が必要になることが多く、また、職員の産育休、年度途中での退職により人員確保の苦労はあったが、村雨こども園からの応援もあり、一人一人の子どもと保護者に丁寧に寄り添うことを中心にした保育で運営を行うことができた。

職員が外部研修に参加できる機会も減ったが、園内研修や検討会を行い、職員の質向上に努めた。

(2) 保育内容について

年度初めから、入園、進級しても登園できない状況や村雨こども園での合同保育などにより、子ども達に戸惑いが生じ、また8月から10月までは毎月0歳児の入園が続いたことから、落ち着かない様子もあったが、環境に慣れ保育士との信頼関係を築く中で、安心してのびのび過ごす姿になった。

保護者参加の行事については中止せざるを得ないものもあり、保育園での子どもの様子を知って頂く機会は減ったが、運動会の代わりとして、普段から散歩で使用している公園でのオープン保育という形で、親子で楽しめる取り組みを計画し実施できた。また、発表会を行うことができない対策として、子ども達の普段の様子を動画で撮影し、一家庭ずつ個別でのビデオ鑑賞会を行った。

日程や時間帯を保護者の負担にならないよう設定し予約する形にしたことでも、混雑もなく、家族で楽しめることができたようだった。アンケートの結果も好評だったことから、今後も取り入れていきたい。

2020年度 村雨ほほえみ保育園（定員19名）園児数

	0歳児	1歳児	2歳児	合計（人）
4月	2	6	7	15
5月	2	6	7	15
6月	2	6	7	15
7月	2	6	7	15
8月	3	5	6	14
9月	5	7	6	18
10月	6	7	6	19
11月	6	7	6	19
12月	6	7	6	19
1月	6	7	6	19
2月	6	7	6	19
3月	6	7	6	19
平均	4.3	6.5	6.3	17.1

(3) 一時保育事業について

非定型保育の利用が主になった。年度後半は、利用登録は増えたが、実際に利用のないケースもあり、また、職員配置の点で受け入れ可能が少ない状況になってしまった。

2020年度 村雨ほほえみ保育園 一時保育利用状況

	非定型保育	緊急保育	リフレッシュ保育	合計(人)
4月	0	0	0	0
5月	0	0	0	0
6月	0	0	0	0
7月	3	0	0	3
8月	6	0	0	6
9月	12	0	0	12
10月	12	0	1	13
11月	12	0	3	15
12月	0	0	0	0
1月	0	0	0	0
2月	1	0	0	1
3月	1	0	0	1
合計	47	0	4	51

3-7 松風児童館

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため緊急事態宣言が発出され、児童館は臨時休館となり、放課後児童クラブのみの受け入れとなった。

開館となった6月15日以降は可能な限りの感染対策・予防を行い、利用者が安心安全に過ごすことができるよう環境整備や行事等の工夫をし、運営にあたった。また、おやこふらっとひろば須磨と連携し親子に多様な居場所の提供をし、より地域に寄り添った児童館となるよう務めた。

2020年度 松風児童館利用状況（2020年4月～2021年3月）

月	来館利用人員(人)							学童 在籍 数 (人)	
	幼児	小学生			中高生	大人	合計		
		1～3年	4～6年	一般					
4	0	0	896	0	92	0	0	988 153	
5	0	0	378	0	16	0	0	394 152	
6	58	27	1517	3	180	4	55	1844 149	
7	68	40	1633	17	241	4	86	2089 143	
8	67	42	1381	24	182	2	54	1752 135	

9	126	38	1440	6	186	15	116	1927	128
10	149	47	1635	7	175	7	134	2154	127
11	145	34	1389	2	131	9	135	1844	123
12	104	40	1370	3	123	4	95	1739	117
1	133	23	1104	6	101	8	150	1526	109
2	132	28	1117	3	107	0	126	1513	109
3	143	25	1324	3	123	4	119	1741	107
合計	1116	344	15184	74	1657	57	1071	19511	/

(1) 親子館事業内容、状況報告

ここ数年、プレ幼稚園の低年齢化や共働き世帯の増加に伴い、登録制クラスの登録数が減少傾向にあったことから地域の親子がもっと気軽に遊びに来てもらえるよう、なかよしひろばを週3回に増やし、親子のリフレッシュできる居場所づくりを行った。登録制クラスのすこやかクラブでは、対象年齢の幅を広げ異年齢での交流を楽しみながら子ども同士だけでなく親同士の関わりもできる仲間づくりの場となった。

また、月に1回実施した講座や親子あそびのイベントでは、親子でふれあうことの大切さや子育てに関する情報を伝え、コロナ禍で子育ての不安解消の手助けにもなった。

2020年度 松風児童館 親子館事業報告

クラブ名	内 容		対象者	時間	料金等
なかよしひろば	自由遊び	大型遊具で自由遊び	0～就学前 乳幼児親子	毎週月～水 9:30～12:00	無料 自由参加
	せんせいとあそぼ	体操やふれあい遊び 絵本の読み聞かせ等		毎週月～水 11:00～11:20	
	おべんとうひろば	持参したお弁当を食べる		毎週水 11:30～12:00	
	むらさめひろば	村雨こども園園庭で自由遊び		毎週月 9:30～12:00	
すこやかクラブ	体操、親子のふれあい遊びや季節の遊び		1歳半～ 4歳児親子	毎週木 10:30～11:30	年会費 ¥3,000 登録制
キッズクラブ	子どもを預かる保護者と預ける保護者に 分かれて保護者支援を実施		すこやかクラブに登録して いる親子	毎週月 10:00～12:00	無料

※感染拡大防止のためおべんとうひろばは中止とした

2020 年度登録制クラス 登録組数

クラブ名	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
すこやかクラブ	0	7	8	8	11	12	14	14	14	14	14
キッズクラブ	0	1	1	1	2	3	3	3	3	4	4

2020 年度 なかよしひろば 参加者組数

月	参加組数	備考
4月		臨時休館
5月		
6月	40組 83名	
7月	19組 40名	
8月	27組 60名	
9月	59組 121名	
10月	56組 115名	
11月	55組 111名	
12月	53組 114名	
1月	40組 82名	
2月	71組 147名	
3月	63組 132名	

2020 年度 イベント参加組数

月	行事	参加組数	備考
4月			臨時休館
5月			
6月			
7月	夏まつり		感染症拡大防止のため 中止
8月			
9月	すとろべりーじやむさんと みんなであそぼう	6組 12名	すとろべりーじやむ
10月	だっこでおはなし	8組 16名	須磨図書館
11月	ふうせんあそび	9組 18名	
12月	クリスマス会		感染者拡大のため中止
1月	新聞あそび	6組 12名	
2月	わらべうたであそぼう	9組 18名	
3月	3B 体操		講師の希望により中止

(2) 児童健全育成事業内容・状況について

感染拡大防止のため中止となったものもあるが、子どもたちが楽しみにしている行事については密を避けるため時間を短縮したり、実施回数を増やし各回の定員を減らしたり、広い空間で行うなど、可能な限りの対策をとる等工夫し

て実施した。

また、コロナ禍で子ども同士の関わりが少なくなってしまった今年度は、新聞紙など身近にあるものを使った遊びや、ルールがわかりやすく、小集団でも楽しめるあそびを新たに取り入れた。

2020年度 児童健全育成事業報告

月	事業名	参加者数	備考
4			臨時休館のため中止
5			
6	作って遊ぼう（2回実施）	7名 / 11名	
	チャレンジゲーム	5名	よく飛ぶ紙飛行機づくり
	七夕工作（2回実施）	7名 / 12名	
	カレンダーづくり	10名	季節の折り紙
7	なわとびデー2年以上	9名	
	なわとびデー1年	6名	
	ドッヂデー1年	11名	
	カレンダー作り（2回実施）	13名 / 8名	季節の折り紙
	チャレンジゲーム（2回実施）	8名 / 7名	おでだま
8	夏の工作（2回実施）	11名 / 12名	ミサンガづくり
	チャレンジゲーム大会（2回実施）	15名 / 13名	新聞パズルなど
	みんなで遊ぼう	11名	
	カレンダー作り（2回実施）	10名 / 10名	季節の折り紙
9	つくってあそぼう（2回実施）	20名 / 17名	ゴムでっぽうづくり
	カレンダー作り（2回実施）	8名 / 8名	季節の折り紙
	ミニ運動会	20名	
10	カレンダー作り（2回実施）	17名 / 18名	季節の折り紙
	ハロウィン工作	10名	
	ハロウィンあそび（3回実施）	15名/15名/15名	ゲームやクイズ
11	秋の自然物工作（2回実施）	14名 / 17名	松ぼっくりのメモstrand
	ふうせんであそぼう	17名	
	カレンダー作り（2回実施）	6名 / 10名	季節の折り紙
	チャレンジゲーム（2回実施）	10名 / 17名	
	なわとびデー（2回実施）	12名 / 12名	
12	クリスマス工作（2回実施）	20名 / 14名	飛び出すカード
	クリスマス会（3回実施）	12名/12名/13名	
	ドッヂデー	14名	
	カレンダー作り（2回実施）	6名 / 13名	季節の折り紙
	チャレンジゲーム（2回実施）	8名 / 5名	つみきパズル

	クリーン作戦(2回実施)	25名 / 20名	
1	新聞あそび小学生	26名	スポーツチャンバラ
	プレゼント工作(4回実施)	13名/10名/10名 /15名	地域の方にメッセージ つきカレンダーをプレ ゼント
	鬼ごっこデー	16名	
2	カレンダー作り(2回実施)	14名 / 14名	季節の折り紙
	バレンタイン工作	23名	
	チャレンジゲーム	10名	つみきパズル
	みんなであそぼう	11名	運だめしリレー等
	なわとびデー	15名	
3	プレゼント工作(2回実施)	15名 / 14名	染め紙
	チャレンジゲーム(2回実施)	6名 / 8名	つみきパズル
	カレンダーづくり(2回実施)	14名 / 7名	季節の折り紙
	クリーン作戦(2回実施)	38名 / 18名	

(3) 松風放課後児童クラブ（学童保育）事業内容、状況報告

在籍数は前年度を上回るスタートとなったが、保護者の働き方もさまざまに変化し例年になく欠席や年度途中の退会も多かった。

コロナ禍で4月より休校が続き、学童保育は特別保育となつたが、子どもたちの安心安全を第一に考え、過ごし方や環境を見直し、感染対策を行いながら子どもたちが過ごしやすいよう工夫をした。しかし、例年に比べ集団生活のなかでさまざまな経験をする機会が減つており、友達同士でうまくコミュニケーションが取れず、子ども同士で遊びを楽しめなかつたり、学校や家庭でのストレスを抱える子も少なくない。個々へのより細やかな対応ができるよう、毎月育成検討会で意見を出し合つたり、毎日のミーティングで職員間の情報共有に努め、職員一人一人の意識やスキルを高めるようにした。また、11月よりICTシステムを導入し、学童の入退出管理や保護者との連絡などの効率化を図つた。

2020年度 松風放課後児童クラブ 放課後児童健全育成事業報告

月	行 事	月	行 事
4	<ul style="list-style-type: none"> ・入所式・進級式（縮小開催） ・防犯防災保健指導 「児童館での安全な過ごし方」 ・避難訓練（火災） ・外あそび ・4月のお誕生会（縮小開催） 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・学童交流外あそび（中止） ・防犯防災保健指導 「帰り道の注意（いかのおすし）」 ・5月のお誕生会（縮小開催）
6	<ul style="list-style-type: none"> ・本館・分館交流外あそび（中止） ・保護者会（資料配布） ・6月のお誕生会（縮小開催） 	7	<ul style="list-style-type: none"> ・個別懇談会 ・7月のお誕生会（縮小開催） ・防犯防災保健指導

	・防犯防災保健指導 「警報や注意報がでたとき」		「夏休みの過ごし方」 ・運営委員会（資料配布）
8	・須磨水族園へ遠足（中止） ・8月のお誕生会（縮小開催） ・防犯防災保健指導 「交通ルールの確認」	9	・9月のお誕生会（縮小開催） ・防犯防災保健指導 「もしも不審者が児童館にきたら」
10	・10月のお誕生会（縮小開催） ・防犯防災保健指導 「帰り道の注意（こども110番）」 ・学童入会説明会	11	・在籍児童継続調査 ・11月のお誕生会（縮小開催） ・防犯防災保健指導 「感染症予防について」
12	・12月のお誕生会（縮小開催） ・防犯防災保健指導 「知らない人に声をかけられたら」	1	・1月のお誕生会（縮小開催） ・防犯防災保健指導 「地震がおこったら」
2	・敬老交流会（中止） ・2月のお誕生会 ・個人面談 ・防犯防災保健指導 「感染症予防について」	3	・3月のお誕生会（縮小開催） ・新年度準備 ・防犯防災保健指導 「家に帰ったら気をつけること」 「感染拡大防止のために」

本館 2020年度学校別・学年別在籍児数 (2020年4月1日)

小学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計(人)
西須磨	31	23	23	13	4	0	94
若宮	4	8	5	6	0	0	23
神戸大学附属小学校	0	0	1	0	0	0	1
合計(人)	35	31	29	19	4	0	118

(2020年10月1日)

小学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計(人)
西須磨	31	21	19	9	1	0	78
若宮	3	7	4	1	0	0	15
神戸大学附属小学校	0	0	1	0	0	0	1
合計(人)	34	28	24	10	1	0	94

(2021年3月1日)

小学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計(人)
西須磨	26	18	17	6	0	0	67
若宮	2	5	2	0	0	0	9
神戸大学附属小学校	0	0	0	0	0	0	0
合計(人)	28	23	19	6	0	0	76

*在籍数…年間の推移は別紙参照（2020年度松風児童館利用状況）

分館 2020年度学校別・学年別在籍児数 (2020年4月1日)

小学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計(人)
西須磨	4	11	3	1	1	1	21
北須磨	5	8	1	0	0		14
合計(人)	9	19	3	2	1	1	35

(2020年10月1日)

小学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計(人)
西須磨	4	11	3	1	1	0	21
北須磨	4	8	0	0	0	0	12
合計(人)	8	19	3	1	1	0	33

(2021年3月1日)

小学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計(人)
西須磨	4	9	3	1	1	0	18
北須磨	4	8	0	0	0	0	12
合計(人)	8	17	3	1	1	0	30

*在籍数…年間の推移は別紙参照（2020年度松風児童館利用状況）

3－8 おやこふらっとひろば須磨（神戸市からの運営委託事業）

神戸市より委託をうけ、令和2年度から須磨区役所2階で地域の親子が気軽に立ち寄り、安心して安全にあそぶことができる場として子育て支援事業を行っている。ひろば内の遊具で自由にあそぶことができ、親同士が交流できる場などを設けている。子育て相談も受け付けており、内容に応じて区役所のことども家庭支援課につなげている。地域と協働し子育てが楽しい地域づくりを目指し、親子に寄り添いながら地域の親子の居場所となるよう努めている。

新型コロナウィルス感染症拡大による緊急事態宣言を受け、4月1日～5月31日まで閉所となり6月から本格的な開所となった。須磨区役所内で行っている検診やHP等で広報し、来所も徐々に増えてきた。土日は父親の育児参加も増え、祖父母を交えて家族での来所や、須磨区外や神戸市外から来られる親子も増えている。

新型コロナウィルス感染症対策として、来所者全員の検温や手指消毒、健康チェックを行い、施設内は常に換気し、遊具はこまめに消毒をしている。また、感染者が増加している時期は定員を半分にするなどの対策をとり、来所者が安心してあそぶことができるよう努めてきた。今年度は特に感染症拡大の為、安心してあそべる場や親子の居場所がとても少なかったようで、制限がある中でも親子で利用できる施設があると助かるという保護者も多かった。

2020年度 おやこふらっとひろば須磨利用状況（2020年4月～2021年3月）

月	来所人数						来所組数			
	0歳	1歳	2歳	3歳以上	大人	合計	区内	区外	市外	合計
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	219	393	111	157	852	1,732	685	62	2	794
7月	264	465	195	294	1,148	2,366	911	115	2	1,028
8月	274	512	266	339	1,330	2,721	993	147	2	1,142
9月	241	482	194	250	1,156	2,323	879	146	3	1,025
10月	274	544	205	256	1,222	2,501	953	139	9	1,101
11月	271	438	174	204	1,055	2,142	829	128	4	961
12月	221	322	155	136	786	1,610	590	116	5	711
1月	175	312	190	150	792	1,619	591	109	6	706
2月	189	364	197	214	902	1,866	667	135	4	806
3月	318	472	205	244	1,146	2,386	885	151	7	1,043
合計	2,446	4,304	1,892	2,244	10,389	21,266	7,983	1,248	44	9,317

1、各機関との連携

須磨区役所こども家庭支援課と連携しながらイベントや講座の実施や、子育てに悩みを抱える保護者の相談、支援を行ってきた。区役所との連携においては、月に1回定例会を実施し、次月の予定や利用者情報共有、課題等を話し合い、ひろばの運営に活かしている。

また、神戸須磨ロータリークラブより鳩時計や英語絵本を寄贈していただき、1時間おきに出てくる鳩を時計の前で待っている親子や、普段なかなか目に触れる事の少ない英語絵本を手に取り興味津々に読んでいる親子が多く、来所者を楽しませてくれている。

2、イベント・講座の実施

季節を感じるあそびや、子育てに関する講座等を月に1回実施した。イベントでは家庭でもできるあそびの提案や、ひろばでしかできないダイナミックなあそびなどを取り入れ、あそびを通して親子でふれあうことの大切さを感じ楽しんでもらえた。また一緒に参加した親子同士が関わることができるよう集団でのあそびも取り入れ、お友だちづくりにつながる工夫をした。

講座では外部講師に専門的な子育てに関する情報等を指導していただき、子育てに対する不安感や悩みを少しでも和らげ、子育てについて学ぶ時間を提供することができた。

子どもの発育に关心を持つ保護者が多く、身体測定の実施回数を増やした。1組ずつ個別に測定し、保護者とコミュニケーションを取りながら子どもの成長と一緒に見守ることで、気軽に子育てに関する悩みを話せる時間にも繋がった。

2020 年度 イベント実施報告

実施月日	行事名	行事内容	参加者		備考
			大人	子	
6月 21 日	パパイベント	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
7月 7 日	七夕あそび				
8月 16 日	夏まつり				
9月 12 日	運動会ごっこ				
10月 18 日	ハロウィンパーティー	パネルシアターや簡単工作	22人	17人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため参加人数を制限の上実施
11月 25 日	みんなで音楽会	楽器の演奏や簡単工作	18人	17人	
12月 20 日	クリスマス会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
1月 27 日	お正月あそび				
2月 3 日	節分あそび				
3月 17 日	わらべうたあそび	わらべうたのペープサー トや親子のふれあいあそ び	9人	9人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため参加人数を制限の上実施

2020 年度 講座実施報告

実施月日	講座名	講座内容	参加者		備考
			大人	子	
6月 11 日	ベビーマッサージ	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
7月 15 日	歯の健康教室				
8月 25 日	子育て講座				
9月 24 日	親子エアロビクス	親子ができる体操や運動、 ふれあいあそびなど	7人	7人	新型コロナウイル ス感染症拡大防止 のため参加人数を 制限の上実施
10月 6 日	防災講座	避難場所や避難グッズの紹 介、災害時の行動について	6人	7人	
11月 17 日	ベビーマッサージ	親子でコミュニケーション をとりながらマッサージを する	10人	11人	
12月 5 日	だっこでおはなし	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
1月 15 日	子育て講座				
2月 21 日	食育講座				
3月 25 日	親子エアロビクス	親子ができる体操や運動、 ふれあいあそびなど	8人	8人	新型コロナウイル ス感染症拡大防止 のため参加人数を 制限の上実施

その他

	身体測定	せんせいとあそぼう
実施回数	年 21 回	年 75 回

3、子育て相談

来所やメール、電話での多様な方法で相談業務を行っている。顔見知りの利用者も増え世間話をしながら子育てについて気軽に相談される方も徐々に増えてきた。悩みを聞いてくれる大人が周りにおらず思い詰めていたり、近隣トラブルで悩んでいたりと深い悩みをもっている保護者もあり、職員が接

して気になる保護者や、より専門的に話を聞いてほしい保護者には、区役所や関連機関と情報共有しながら支援に努めている。

相談件数

月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談	8	5	2	6	3	5	7	5	3	8	52
関連機関へ連絡	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3

4、ボランティアの受け入れ

神戸須磨ローターアクトクラブよりボランティアの希望があり、ボランティア活動の一環で地域の親子に喜んでもらえるようなイベントを計画したいと考えられているので、実施に向けて打ち合わせを行っている。

3－9 諏訪ひかり保育園

(1) 保育・運営

諏訪ひかり保育園は8年目を迎えて、引き続き地域からの信頼と期待に応えるため、当保育園ならではの地域に密着した保育の実践に取り組み、新たな体制のもと、保育の質の一層の向上と教育の充実に努めた。

また、保育の3本柱「食育・運動・異年齢保育」が定着してきた中、外部講師によるリトミックを全クラスで取り入れ、音楽による刺激を受けることにより、こども達一人ひとりの自発的な行動・表現への育ちに取り組んだ。

2020年度園児は88名でスタートしたが、緊急事態宣言による特別保育となり宣言解除後の7月より改めて89名でのリスタートとなった。

特別保育中は保護者対応に関しては対面でのコミュニケーションが限られたため、定期的な電話による近況報告、情報交換を始め、コドモンによるおたより配信、メール連絡、ホームページによる絵本紹介などをを行い、保護者の不安や悩みに寄り添いともに子どもの育ちに共感しあいながら、パートナーシップとして二人三脚で歩むような密接な関係を築くよう努めた。

職員間の情報共有に関しては、職員会議をはじめとする各種会議や定例打ち合わせなどを定期的に開催するほか、緊急性のある場合などは必要に応じ、連絡会・検討会などを適宜開催し、子どもや保護者の情報、危機管理情報などの共有や、連絡・指示命令の即時伝達など、可能な限りダイレクトでタイムリーな情報周知の徹底を図った。

また小人数グループでのディスカッションにより、一人ひとりの思いを話し、相手の思いに共鳴して保育への思いをひとつにできるよう、乳児・幼児各リーダーを中心に主体的に取り組んだ。

「さいたま保育園」との施設間連携においては、コロナウイルス感染症対策による埼玉病院の意向により、保育においては一緒に活動することは難しかった。職員間においてはコロナウイルス感染症対策のもと、お互いにどちらの園に欠勤が出てもフォローが出来るよう協力体制をとった。

また次年度から地域枠の園児が3歳児クラスから諏訪ひかり保育園に連携園と

して転園する事に向けて転園児についての引継ぎを細かく行った。

行事についても、コロナウイルス感染症対策の為、全てにおいて中止、縮小となり運動会はこどものみ、発表会はひとクラスずつの入れ替え制で行った。地域交流も中止となり、近隣の施設や小学校との交流も行う事が出来なかつたが、こどもたちだけの運動会など初めての試みで視点も変わり、こども達は気負う事無く行事を楽しみ新たな成長を見させてくれた。

保育の充実、保育の質の向上、新たな事業展開を図るなど、いずれにしても重要ポイントは、職員の確保と定着、人材育成、職員のスキルアップなどのいわゆる「人」の問題である。働き方改革が叫ばれている現在、1~5 年先を見据えて人事体系を構築していくこととしたい。

2020 年度 諏訪ひかり保育園園児数

月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計(人)
4月	7	12	15	18	18	18	88
5月	7	12	15	18	18	18	88
6月	7	12	15	18	18	18	88
7月	8	12	15	18	18	18	89
8月	8	12	15	18	18	18	89
9月	8	12	15	18	18	18	89
10月	8	12	15	18	18	18	89
11月	8	12	15	18	18	18	89
12月	8	12	15	18	18	18	89
1月	8	12	15	18	18	18	89
2月	8	12	15	18	18	18	89
3月	8	12	15	18	18	18	89
平均	8	12	15	18	18	18	89

(2) 病児・病後児保育室「やわら」

新型コロナウイルス感染症の発生と共に、特別保育になり、在宅勤務が増え、利用数が格段に減ってしまった。コロナが治まりかけた 7 月に少しの利用があったが、再度の爆発的な増加に病児の利用へとはならなかつた。今後も病児保育を必要としている保護者・職員の要望に応え、体制を整えながらより多くの受け入れができるようにしていきたい。

2020 年度 病児・病後児保育室「やわら」利用人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	0	0	0	0	1	0
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	0	7	1	0	2	0

合計	11人
----	-----

(3) 一時預かり保育

一時預かり保育に関しても、新型コロナウイルス感染症の拡大により、集団生活を避けられたり、保護者の在宅勤務の増加につれ利用数につながらなかつた。

2020年度 諏訪ひかり保育園 一時保育利用状況

	非定型保育	緊急保育	リフレッシュ保育	合計(人)
4月	0	0	0	0
5月	0	0	0	0
6月	3	0	0	3
7月	0	0	0	0
8月	0	0	0	0
9月	0	0	1	1
10月	9	0	3	12
11月	13	0	0	13
12月	7	0	0	7
1月	12	0	0	12
2月	12	0	0	12
3月	13	0	0	13
合計	69	0	4	73

(4) 職員研修

キャリアアップ研修を中心に、一人ひとりの専門性に向けた研修に取り組むように努めた。園内における講師を依頼してのピアノ研修も定着しており、苦手意識をなくし、楽しんで個々の課題に取り組む姿勢が保育にも表れてきている。また、職員希望により外部音楽講師を招き、こども達が行っているリトミックを同じように職員全員が同時に同じ研修を受けたことで、より保育への思いをすり合わせ、スキルアップと共に一体感を広げることが出来た。人材育成に関しては、園内研修を充実させるとともに、リモート研修によるグループワークを取り入れ、より一人ひとりの職員が自分の考えを話し、ディスカッションを通して柔軟に知識を取り入れ、実務につながるように取り組んだ。

また専門性を磨くために、リモートによる外部研修にも積極的に参加し、それぞれの課題を捉え研修に努めた。

4 公益事業

4-1 放課後児童クラブキッズガーデン

2020年度は、毎日コース61名、夏休み利用予定67名でのスタートとなった。コロナ対策で園外活動は行わなかつたが、今だからこそ出来る事として、日常生活での様子を発信するSNSを立ち上げ、保護者や他施設と繋がりを持つ事が出来た。また、個々の才能を活かす為、特に制作・絵・音楽に日常的に取り組める様、環境作りを工夫した。さらに、スマイリーハウス保育園との交流を柔軟に行い、子ども達が積極的に参加し、ふれあいの中で心を育み、成長に繋がる良い機会となっている。一方で、発達凸凹の見受けられる児童が増えてきている事から、インクルーシブな集団生活への変化を感じている。その為、今後の園の取り組みやこども達の能力開花の為にも、指導員の想像力・リード力の向上は必須と考える。

2020年度 キッズガーデン在籍、利用者数 (人)

	毎日コース	個性育成コース	一日預かり・一時利用
4月	61	6	6
5月	60	8	0
6月	59	7	2
7月	59	7	2
夏休み	58	7	6
9月	57	7	3
10月	56	6	1
11月	55	6	3
12月	55	6	2
冬休み	55	6	2
1月	55	6	1
2月	54	6	2
3月	53	4	5
平均	57	6	3

2020年度行事報告

4月	はじめまして会
5月	中止
6月	中止
7月	中止
8月	園庭水遊び
9月	中止
10月	ハロウィン制作発表
11月	中止
12月	クリスマス会

1月	園庭雪遊び
2月	園庭雪遊び
3月	中止

4－2　さいたま保育園

2020年度6月から定員100名（地域枠1,2歳児各12名を含む）となり、園児数の増員、職員数の増員を行った。

2020年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、埼玉病院との連携を密にとり情報収集を行うと共に感染対策の指導も仰ぎながら対策を行ってきた。徹底した感染対策を行った甲斐もあり保護者からの信頼もより一層強いものとなつたと感じている。

来年度に向けては、新しい生活様式の中保育園として求められるものをしっかりと理解し職員の質向上に向けて励んでいきたい。

2020年度　さいたま保育園園児数

月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計(人)
4月	3	32	23	7	7	2	74
5月	3	32	23	7	7	2	74
6月	4	35	24	7	7	2	79
7月	4	35	24	6	7	2	78
8月	4	35	24	6	7	2	78
9月	6	35	24	6	7	2	80
10月	6	34	24	6	6	2	78
11月	6	34	25	6	6	2	79
12月	6	34	25	6	6	2	79
1月	6	35	25	6	6	2	80
2月	6	34	25	6	6	1	78
3月	6	34	24	6	6	1	77
平均	5	34	24	6	7	2	78

4－3　つくしんぼ保育所

(1) 保育・運営

事業所内保育事業としての運営も定着ってきて、園児数もほぼ定員に達するまでとなつた。保育士確保も年度初めよりしっかりとでき、どのクラスも落ち着いて保育をすることができた。

保護者とのスムーズな連絡ツールの一環として、キッズリーを導入し、保育業務もICT化を行い、業務削減を行うことができた。ブログでは保育の様子を頻繁にUPし、保護者の方には喜んで頂き、保育の見える化にも貢献できたと思う。

コロナ禍に伴い、保育内容にも変化が必要となり、保育士間で話し合いを行

い出来る事は、取り入れ、保護者にも協力を求めた。行事等に関しては、その都度病院に相談・指示を仰ぎ、より良い方向で行うように努めた。

また、委託期間が今年度で終了することにより、更新準備に早めに取り掛かった。資料作成にあたり、改めてつくしんぼの特色等を考えるきっかけとなり、今後の保育運営においての土台を作ることができたと思う。

委託に関しても、無事、5年間の委託が決定し、更なる保育の発展に努めていきたいと思う。

2020年度 つくしんぼ保育所園児数

月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計(人)
4月	0	6	11	7	4	7	35
5月	0	6	11	7	4	7	35
6月	1	7	11	7	4	7	37
7月	1	7	11	7	4	7	37
8月	1	7	10	7	4	7	36
9月	2	7	11	7	4	7	38
10月	3	7	11	7	4	7	39
11月	3	7	11	7	4	7	39
12月	4	7	11	7	4	7	40
1月	5	8	11	7	4	7	42
2月	7	8	11	7	4	7	44
3月	7	8	11	7	4	7	44
平均	3	7	11	7	4	7	39

(2) 研修

- ・聖徳夏期保育大学 『人と繋がる喜びを』
『非認知能力を育むあそび』
『幼児期にふさわしい教育を考える』
『心と心のきずな 愛着の重要性について考える』
『病気の子どもも安心できる保育の場』
『多様性の視点から読み解く絵本の世界』
『てぶくろ使った人形遊び』
『保護者との信頼関係づくりとクレームへの対応』
『保護者のエンパワーメントにつながる支援とは』
- ・発達障害研修
- ・初任保育所長研修
- ・千葉県保育士キャリアアップ研修 『保護者支援・子育て支援』
『幼児教育』

5 法人としての主な報告と今後の課題

5－1 法人・園運営改善について

- ① 理事会を8回開催し、さまざまな課題に関して協議を行うと共に、円滑な経営、運営に努めている。
- ② 評議員会を4回開催し、さまざまなお諮問に対して審議し、円滑な経営、運営に努めている。
- ③ 理事会、評議員会に関する役割について明確化し、取り組んでいる。
- ④ 法人本部機能を強化し、法人と施設の円滑な連携について、推進及び改善に努めている。
- ⑤ 保育園の定員超過に対して、各地域の状況、調査・検討を加え、新設園、分園を設置するなど具体的な取り組みを行った。
- ⑥ コンプライアンス委員会を設置し、法人内の取り組みの確認を行った。
- ⑦ 幼保連携型認定こども園に対する取組み、保育指針の改定に伴い、保育課程を作成し、年、月の指導計画を継続して検討し、改善を加えている。
- ⑧ 総合福祉研究会などとの連携により、会計システムの円滑な処理、整備を行っている。
- ⑨ 社会保険労務士など専門家と協議し、各施設に合致した就業規則、給与規定など職員の待遇などを制定し、実行すると共に、人事考課など人事システムについての検討を行った。
- ⑩ キャリアパスに合致した体制作り、諸規定整備に向けた検討を行い、施設長へ具体案の提示を行った。2020年度中に神戸地区においてプレ実施し、2022年4月の本格実施を目指した取り組みを行うこととした。
- ⑪ 職員資質向上のための研修や実践を行った。(オンライン活用)
- ⑫ 苦情解決システムの強化を図り、「保護者対応及び職員ケアに関する指針」を定め、一層の円滑化と活用を行う。
- ⑬ 専門家の支援体制を活用すると共に、公認会計士による外部監査を行い、経営改善に努める。
- ⑭ 第三者評価の受審を目指し、各種のマニュアルを整備、改善に努め、実践に努めている。
- ⑮ 子どもの育ちを客観的に把握するためのシステム、体制整備に努めている。
- ⑯ 平成29年4月に開始された社会福祉法人改革に伴う諸準備を進め、行政や社会福祉協議会、各種専門セミナーに積極的に参加すると共に、専門家の助言を受けながら、諸手続きを行い、必要に応じて改善に努めている。

5－2 日常業務関係

(1) 防災・危機管理体制の充実について

- ① 防災マニュアルを整備し、訓練に生かすと共に常に見直し、改善に努めている。
- ② 様々なケース(内容、時間、場所)を想定しての避難訓練の充実を行う。

- ③ 危機管理体制の一層の整備を行う。
- ④ メールの一斉配信など、個人情報保護を鑑みつつ、緊急時の保護者との連絡体制の整備を行い、円滑な連携システムが整い、円滑な活用となっている。
- ⑤ 救急救命の講習を継続して実施すると共に、AED の使用法など継続した研修を行い、命を守る職場環境整備なお一層努める。
- ⑥ 新型コロナウイルス感染予防対策について諸施策を整備した。

(2) 園務・経理の効率化

- ① ネットワークシステムを構築し、情報共有や情報保護に取り組み、平成 29 年に本格稼動したが、継続的な見直しを行い、業務改善に努めることしたい。
- ② 経理事務に関しては、施設との連携の円滑化が推進されると共に、ミスの最小化に向けた取り組みを行い、ミス 0 を目指した体制を構築している。
- ③ LAN システムを活用すると共に、パソコン等を拡充し、業務効率化を推進し、一層の充実を図っている。
- ④ 保護者、職員等とのメール配信、連絡など活用方法をなお一層工夫し、相談業務等への充実、活用を図る。
各施設で、保育支援システム キッズリーやコドモンの導入によりタブレット端末を活用した取り組みを行っている。
- ⑤ 個人情報保護を念頭に、データ管理の整備を行い、ペーパレス化を一層推進している。
- ⑥ 経理システム、給与計算、栄養計算など関係するソフトを継続して更新し、一層の業務効率化を進める。
- ⑦ 月案・週案など日常業務について、コンピュータ処理化を図り、円滑な運用を行なっている。豊岡拠点ではキッズリーの活用により、業務円滑化を推進している。
- ⑧ ホームページをリニューアルすると共に、職員研修を行って、職員でも対応できるような体制整備を進めている。
- ⑨ ウェブ環境のなお一層の充実を図っている。

(3) 各種研修の実施

- ① オンラインを活用した研修を推進した。
- ② 保育内容充実に関する研修について、積極的に参加した。
- ③ 情報共有に関する勉強、取組みを積極的に行つた。
- ④ 法人として、メンタルヘルスケア研修を継続して行った。
- ⑤ 保・幼・小連携など、地域の研修に積極的に参加した。
- ⑥ 運動遊びなどの体育の研修に積極的に参加した。
- ⑦ 他の保育園、幼稚園、児童館等の施設見学、教育内容、保育内容の研修に努めた。
- ⑧ 保育関係団体主催の研究大会、セミナー等へ積極的に参加し、フィードバ

ックに努めた。

- ⑨ 保育制度改革に伴う、各種セミナー、勉強会に積極的に参加した。
- ⑩ 社会人としての常識、マナーなど社会性を身につける研修を積極的に取り入れた。
- ⑪ パソコン活用を推進し、IT 研修を積極的に行い、レベルの均一化と共に高度化、専門化に向けた研修を行なっている(ホームページ、メール、インターネットの活用、業務効率化)。
- ⑫ 園児に関する基本データを活用し、保育の実践に役立てている(保育支援システムの導入と活用)。
- ⑬ 第三者評価を受審するための勉強会、フィードバック研修などに積極的に参加し、整備に努めている。
- ⑭ 社会福祉法人改革に伴う、各種の勉強会、研修に参加し、具体的対応を行った。
- ⑮ メークアップ・インスタなど教養や趣味、健康・研修にも取り組んだ。
- ⑯ 観劇などを推進し感性を磨いた。

(4) ホームページ・各種連絡について

- ① ホームページ等の定時更新を行うための体制整備を行っている。
- ② 園だより、給食だより、クラスだよりなど、定期的なお便りの充実を行い、配布を行っている。
- ③ 園行事等に関して、受付場所に PC・テレビを配置し、情報配信し、高い評価を受けている(諏訪ひかり保育園)。
- ④ メール通信を活用し、行事予定のお知らせ、欠席者の報告や伝言について、迅速かつ正確に行っている。
- ⑤ 個人情報保護や育児相談の観点から、なお一層メールを活用した連絡網を確立し、子育て支援に役立てている。
- ⑥ 法人と施設の連絡において、連携ミス等の課題について、改善に努めたい。
- ⑦ メールアドレス・パスワードなどセキュリティの充実、システム開発に取り組んでいる。

(5) 受付業務

- ① 電話応対について、個人名呼名が定着し、高い評価を受けている。
- ② コミュニケーション能力を向上させ、臨機応変、即時の対応については、今後一層研修に努め、情報共有化などを推進している。
- ③ メール・WEBの活用など、受付業務、連絡業務の改善を行っている。

(6) 食育の推進(各施設共通の課題として)

- ① 一汁三菜などメニューの抜本的な見直しを行い、改善に努めている。
- ② チャイルド農園での野菜の栽培などを活用した実践的な食育活動の展開を行い、一定の成果をあげている。村雨こども園でも同様に、屋上園庭において、菜園を設け、食育の一助になっている。

- ③ 栄養士を中心に保育士と連携し、年間食育計画を作成し、食育についての研究、研修活動を積極的に行った。
- ④ 園児の個別のアレルギーの聞き取りを行うなど、離乳食、アレルギー除去食、病児食など献立、食材など一層の工夫を加え、更なる充実を図っている。
- ⑤ 「お料理室たより」などを通じて、食育指導、栄養指導、健康面での啓発活動に取り組んでいる。
- ⑥ 食指導において、家庭との連携が課題となり、保護者指導などを行う必要がある。
- ⑦ 毎日、献立サンプルの展示を行っている。
- ⑧ 健康増進について啓発活動を行い、実践する。

6 新規事業

(1) 豊岡拠点

- ① チャイルドハウス保育園のこども園移行に向けた取り組み
- ② バンビーノハウス保育園

(2) 阪神拠点

- ① 村雨こども園環境整備
- ② 村雨こども園なぎさ分園開園
- ③ おやこふらっとひろば須磨開設

(3) 首都圏拠点

- ① 諏訪ひかり保育園のこども園移行に向けた取り組み
- ② さいたま保育園定員増加への取り組み

(4) 2021年度重点事業

- ① 東京都における認可保育園開園に向けた調査及び具体的取組み
- ② 放課後児童クラブ・複合型施設及び児童館への取組み（豊岡）
- ③ 就労支援・就労移行支援事業への取組み（豊岡）
- ④ 多地域多機能多施設への取組み
- ⑤ 「ピタッとカフェ」などワンストップ事業構築調査
- ⑥ その他、アンテナを高くして対応

まとめにかえて

2020 年度は、コロナで始まりコロナの収束がみえない本当に不確実で不透明な年でありました。従来の考え方、取り組みでは対応しきれない状況で、保育・教育現場においても、さまざまな判断、対応が求められました。パラダイムシフトの変革を現実のものとして取り組む好機でもあったように感じます。

園児、保護者はもとより、職員の健康管理に配慮し、一人ひとりを大切にする姿勢を保ちながら、安心安全な環境整備を行ってきました。

本法人として、with コロナ、after コロナにいかに向き合っていくのか、保

育・教育の質の向上は当然のこととして、選択と集中を進め、経営判断を行なっていき、実践に努めることが何より肝要である。

保育・教育事業も、サンタ（多施設、多機能、多地域）の実現に向けたネットワークの強化は大きな課題となっていると共に、地域に密着した活動展開が重要になってきている。

役職員の叡智と行動を基盤になお一層のキャリアアップを図っていくこととしたい。

また、将来展望を踏まえ、他分野や新たな取り組みを模索していく時期であり、調査研究を進めて具体化していきたい。

法人と施設の基盤強化、PDCA サイクルの重視、そして何より一人ひとりを大切に、積極的な取り組みを推進することとしたい。